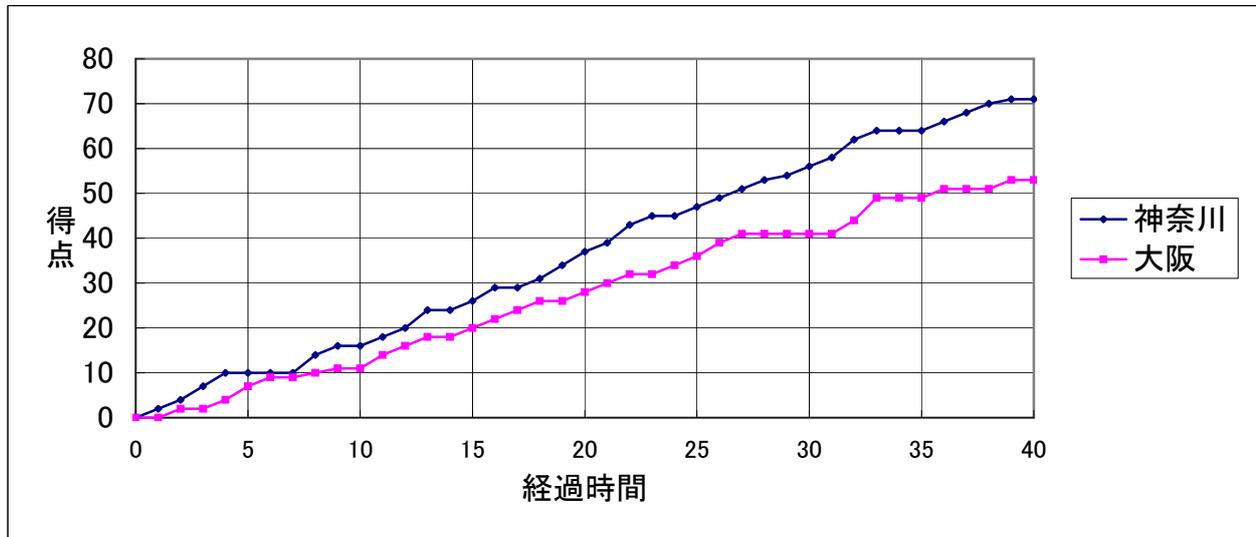


大会名	第63回 国民体育大会 バスケットボール競技会	G2	11:55	少年女子 準々決勝																
		神奈川	71 ○	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	16	-	11	21	-	17	19	-	13	15	-	12	-	-	-	53 大阪 ●
				16	-	11														
21	-	17																		
19	-	13																		
15	-	12																		
-	-	-																		
期日会場	2008年(平成20年)9月29日(月)	ダイハツ九州アリーナ																		

主審 富田 陽子 副審 伊橋 隆浩



神奈川

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
◎4	金山 舞穂	20	1	7	3	1
○5	門脇 萌乃	2	0	1	0	0
6	福田 悠香	6	0	3	0	0
○7	傳田 みのり	9	0	2	5	3
○8	篠崎 澪	16	0	7	2	2
○9	番園 ゆり子	14	0	5	4	2
10	小原 みなみ	0	0	0	0	0
11	則本 真奈	0	0	0	0	0
12	北山 悠乃	0	0	0	0	0
13	久保田 千尋	2	0	1	0	1
14	飯田 都季	0	0	0	0	0
15	竹浦 萌	2	0	1	0	1
16						
17						
18						
コーチ	岡崎 朝夫					
	合計	71	1	27	14	

大阪

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
◎4	藪田 早紀	5	0	1	3	3
5	笠松 梓	0	0	0	0	1
○6	牧野 由香	6	0	3	0	4
7	北野 愛	0	0	0	0	0
○8	広倉 綾乃	15	2	3	3	3
9	笠松 梢	2	0	1	0	2
○10	井上 万理乃	10	2	2	0	4
11	小山 知恵	0	0	0	0	0
○12	園田 彬香	15	0	7	1	1
13	岡田 杏奈	0	0	0	0	0
14	畠中 絵里	0	0	0	0	0
15	角 畑 莉子	0	0	0	0	2
16						
17						
18						
コーチ	三差 政利					
	合計	53	4	17	7	

○はスターター(◎はキャプテン) 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1Q神奈川はオールコートマンツーマン、大阪はハーフマンツーマン。立ち上がり、初戦となる大阪は硬さが目立ち思うように得点できない。一方、神奈川は#4を中心に得点をあげる。次第に自分たちのリズムが戻った大阪は、#12のポストプレイを中心に得点をあげる。その後は、お互いアウトサイドシュートがなかなか決まらず16-11で神奈川がリード。

第2Q神奈川は#6の1on1や#9の2本のバスケットカウントなどで得点を重ねる。大阪は#10の3P、#8、#4のドライブインや#6の1on1で得点するが、常にプレッシャーがかかる神奈川のディフェンスに攻め倦み37-28神奈川リードで前半を終わる。

第3Qは大阪#10のジャンプシュート、#6のゴール下や#8のドライブイン、#10の3Pで追い上げを見せるが、その後は3Pがなかなか決まらない。神奈川は#9のポストプレイや速攻、#8や#4のドライブインなどで徐々に点差がつき、56-41で神奈川リード。

第4Q神奈川はリバウンドにしつこく絡んで得点をあげ、また#8、#4のドライブインでも得点を重ねていく。大阪も#8の3Pや#12のハイポストからの1on1で得点するものの、その後の3Pシュートはことごとくゴールに嫌われてしまう。オールコートでトラップを仕掛けるが神奈川のミスを誘うことはできず、終始アウトサイドにプレッシャーをかけつづけ、リバウンドで優位に戦った神奈川が53-71でベスト4へ進出した。

記者 村上、幸 (所属) 大分県バスケットボール協会